

## 輸入粗飼料の情勢

全酪連購買部  
購買推進課

### 北米コンテナ船フレート

9月からGR I（General Rate Increase：基礎レート）の値上げに続き、10月に入り多くの船会社でBAF（Bunker Adjustment Factor 燃料費調整係数：燃料価格変動に対して調整される割増運賃）の値上げが決行されましたが、11月に一部船会社で\$150-200の値上げ、さらに12月に各船会社よりGR Iの一斉値上げが発表されています。それでも各船会社とも引続き経営は厳しく、今後も大型船から中型船へのシフト、定期航路の削減、船会社同士での共同運航による限られたスペースの共有化などで合理化を進めるため、船腹のタイト感とコンテナの供給不足は続く見込みです。

### ビートパルプ

#### <米国産>

ミネソタとノースダコタの主力工場では、予定通り9/3より09年産の収穫およびビートパルプの生産を開始し、ビート大根の収穫はブリザード（吹雪）により圃場が凍結する前の10月中旬まで行われる予定でした。しかしながら例年以上に降雨が多く、また10月第2週目の気温が大きく低下したこともあり、多くの圃場で作業の遅れが見られます。10月中旬現在では約6割程度の進捗となっているため、今後の天候が懸念されます。これまで収穫した分の収量は前年比で5%程度減少している模様で、シーズン後半の天候が影響していると考えられます。

#### <中国産>

韓国の輸入通関統計によると、9月のビートパルプ輸入数量は14,553トンであり、1-9月合計で108,107トンとなりました。引続き、月間12,000トンと年間150,000トン近いハイペースを維持しています。先月同様に主力の中国産の割合が激減し、それを補うように他国産の輸入が増加する傾向にあります。今後も中国産の安定供給が不安視されるため、09年産以降も韓国勢の他国産を買付ける傾向が強まると考えられており、米国産への引合いは非常に強くなっています。

中国産ビートパルプの09年産については、輸出余力（日本、韓国が買える数量）は合計100,000トン程度との見方があり、供給余力が不安視されます。仮に輸出余力が100,000トンとなると、日韓両国で250,000トン前後の中国産ビートの輸入があるため、6割減ということになり、市場に与えるインパクトは大きなものとなりそうです。

## アルファルファヘイ

### <ワシントン産>

1番刈と2番刈の荷動きはますますの様子です。特にプレミアム品の荷動きは順調で、茎細品を除いて、ほぼ完売の状況です。

現在4番刈の刈取りまで終了しました。若干の雨当たり被害や色褪せ（ブリーチ）が多く見られた3番刈に比べて、品質は概ね良好で、茎細ながら葉付きが良く、色目のきれいな良品が収穫されている模様です。例年は4番刈まで収穫できない若しくは少ない年もあることや、米国内酪農家の引合いが強いことから、4番刈りの輸出向けは少ない傾向にありますが、09年産については米国の乳価低迷から引合いが弱かったために、輸出向けに例年より多く出回る模様です。ただし、これまでと同様に3タイプよりBIGベールでの収穫が増えていることと、3番刈までの3タイププレミアム品が不足しているため、需要を十分に補えるまでには至っておらず、今後も供給はタイト気味となる見込みです。

### <オレゴン産>

オレゴン州クリスマスバレーでは収穫が終了しました。今年は、1番刈の途中で降雨があり刈取りが例年より少し遅れたことから、その後のスケジュールも例年より遅れ、3番刈の生育の早い段階で気温が下がり始めました。また降雨の多い時期にもかかることから、早めに収穫された圃場も多く、そのため単収は例年の約半分程度になっています。3番刈の品質については、全体に良品中心となっています。輸出向けの引合いは強く、全体を通じて良品が限られていることから、特に良品中心の3番刈に需要が集中しているようです。

オレゴン州クラマスフォールズでも収穫が終了しました。こちらでも、1番刈の途中で降雨があったことから、その後のスケジュールが遅れてしまったこと、また4番刈を収穫するために3番刈が早めに収穫された圃場もあったことから、3番刈の単収は例年の約半分程度となっています。3番刈の品質については、全体に良品中心となっています。4番刈については、さらに収量が少なく水分もしっかりと抜けていないため、輸出向け市場にはほとんど出回らないと考えられます。

両産地とも良品が非常に限られていることから、今後も供給はタイト気味となる

見込みで、産地価格はワシントン産に比べて割高で推移しています。

#### <ネバダ産>

ネバダ州でも収穫が終了しました。1番刈は雨当たりが発生したことから良品は非常に少なく、また2番刈でも雨当たりが発生したことから、良品が多い3番刈に需要が集中しているようです。

この地域ではUAE向けの需要が一層強くなってきているようです。その需要の大半はBIGベールで、今後は3タイより効率的に作業を行えるBIGベールへ移行する生産農家が増えてくることも予想されています。

#### <カリフォルニア産>

北カリフォルニアでは、現在6番刈の刈取りを終えようとしています。一部の生産農家では7番刈まで行うようですが、ほとんどの農家は6番刈で終了する見込みです。6番刈の品質については、10月中旬に断続的な降雨があったために、見た目も悪くなっているようです。

インペリアルバレーでは、8番刈まで進んでいます。日本向けには若干船積みされていますが、韓国・UAE向けの船積みは好調で、産地価格も堅調な模様です。

### **チモシー**

#### <米国産>

コロンビアベースン、エレンズバーグともに収穫は全て終了しました。ハイグレード品（馬用・牛用プレミアム品）の引合いは強く、現時点で完売となり追加での買付けは厳しい状況です。当初は牛用プレミアム品までが強い引合いとなっていましたが、買付けできないハイグレード品の代替需要が1番刈のスタンダード品までに広がっているため、ここにきて同グレードの引合いも強まっています。

価格については、ハイグレード品からスタンダード品は需要高と良品供給タイト感から、大幅な値上げが見込まれています。また各サプライヤーとも今年は例年通り、10月出港分から冬季屋内薫蒸料金を加算しています。

#### <カナダ産>

ドライランド（中央アルバータ）、レスブリッジともに収穫は終了しました。カナダ西部の干ばつの影響による国内からの強い引合いを背景に、生産農家が抱えていた在庫も国内向けに出荷され続けている模様です。カナダ国内の需要は引続き強く、今後輸出向けに追加で買付けができる数量は非常に不透明な状況です。

また、10月から米国航路以上に大幅なフレートの値上げが決行されました。今

後も産地の供給不足・カナダ国内での旺盛な引合いから生産農家が高値を唱えており、各サプライヤーとも販売玉確保の為に受け入れざるを得ず、仕入れコストが大幅アップしている為、今後も産地価格は値上げが見込まれています。

## スーダン

インペリアルバレーでは刈取りがほぼ終了しました。09年産は大幅な作付面積減少の影響もあり、茎細のプレミアム品およびライトカラー品の生産量は大幅に減少しています。産地価格については、刈取り初期は08年産の在庫を多く抱えている日本の輸入業者および産地サプライヤーからの買付けが少なく、比較的静かな相場でしたが、収穫が進捗するにつれて、発生が限定的なライトカラー品への需要が高まり、相場は高騰しました。今後も産地価格は値上げが見込まれています。

北カリフォルニアでは1番刈が終了しています。例年では2番刈も終了していますが、10月中旬の降雨の影響で刈取作業ができない状態の圃場もある模様です。2番刈で期待していた数量、品質が少なくなることから、今後もさらに供給のタイト化と産地価格の値上げが見込まれています。

## クレイングラス（クレインは全酪連の登録商標です）

産地では刈取りが終了しています。4番刈以降の作付面積は大きく減少しているはずですが、圃場をそのままにして水を与えていない圃場もあり、エーカレッジレポートには減少が反映されていません。減少した面積がはっきりとわかるのは、12月頃と見込まれています。4番刈の品質については3番刈までと同様に早刈り傾向で、一般的にソフトで緑目のある良品に仕上がっているようです。

## ストロー類

09年産のストロー類の作付けは、前年対比でライグラス、フェスキューともに20%減少となっています。いずれも刈取りは終了しています。フェスキューは、刈取り後に多くの圃場で雨あたりとなりました。色は例年より薄めに仕上がりに、降雨の痕跡である黄色い茎の混入も散見されます。一方ライグラスも、これまで降雨の影響がほとんどないとお伝えしていましたが、こちらも雨あたりが多く、ライグラス、フェスキューともに良品の確保が不安視されています。

08年産の種子の在庫が過剰にあるため、生産農家は早くも10年産のストロー生産を減少させる意向を持っており、産地価格は高騰をし始めています。採算割れで販売しているサプライヤーも多く、今後も大幅な値上げが見込まれています。

## 豪州産オーツヘイ

### <西豪州>

西豪州北部では刈取りは90%終了、ベーリングも30-40%程度まで進捗しています。南部の刈取りは70%終了していますが、10月26日から28日まで南部を除く広範囲で計10-15mmの降雨を受けました。ベーリング前のものは被害に遭っており、ベーリングまで時間を擁する見込みです。10月上旬から好天傾向でしたが、ここにきて降雨の被害が発生しそうです。降雨前にベーリングされたものについては、品質は良好なものが多い見込みです。



西豪州産オーツハイ 10月下旬の降雨被害を受けた圃場

### <南豪州>

刈取りを開始して以来、9月下旬から2週間ほど降雨がありました。現在の刈取り進捗は50%程度で、降雨の影響でベーリング作業の遅れと雨当りが発生しています。収量は例年以上との予想ですが、現段階では降雨の影響からプレミアム品の発生量は少ない状況です。今後収穫されるものから、プレミアム品の発生に期待がかかります。

### <ヴィクトリア州（東豪州）>

刈取りは一部遅播きの圃場を除いて、ほぼ終了し、ベーリングは60%終了しています。この10月30、31日に局地的に降雨がありましたが、限定的だったようで大きな問題にはなっていません。現段階では降雨被害を受けた圃場は40%以下と、他の産地よりも少ない見込みです。

以 上